

## 新県立体育館の移転整備について

### 1. 県立体育館の整備方針

現県立体育館は老朽化が著しく、県民のスポーツ・健康づくり、文化活動の拠点として、また国体・全国障害者スポーツ大会等全国規模の大会を開催するにふさわしい体育館として移転整備する。

### 2. 整備の方向性

- (1) 規模      メインアリーナ：2,700㎡程度（バスケットボールコート3面）  
              サブアリーナ   ：1,000㎡程度（現体育館と同規模）  
              観客席            ：5,000席程度（固定席・可動席・仮設席の合計）

- (2) 場所      びわこ文化公園都市

※人口集積地に位置し、また高速道路の結節点にある。公共交通の充実により広域からのアクセスが容易。

※大学、医療機関、福祉施設など多様な立地施設・資源との連携により、スポーツに限らず、県民の健康づくりの拠点として幅広い機能発揮が期待できる。

※十分な広さの用地確保が可能。

- (3) その他    他施設との複合化の可能性について併せて検討

### ※参考 概算総事業費（試算）

平成26年度実施した「県立社会体育施設の最適な管理についての調査研究」および、平成27年度実施した「びわこ文化公園都市（仮称）スポーツ・健康づくり拠点等調査」において、整備事業費の概算総額を下記のとおり2案試算した。

#### ○A案（施設用地 51,000㎡）

導入施設：体育館・多目的広場・将来施設用地・駐車場・調整池

概算総事業費（試算）

93.4億円（体育館68.6億円、造成等19億円、その他5.8億円）

#### ○B案（施設用地 39,700㎡）

導入施設：体育館・将来施設用地・駐車場・調整池

概算総事業費（試算）

88.9億円（体育館68.6億円、造成等14.6億円、その他5.7億円）

### 3. 今年度の取り組み

#### (1) 新県立体育館建築基本計画の策定

国体・全国障害者スポーツ大会の開催、国体開催後の利用の検討を考慮した建築基本計画を今年度中に策定する。

#### (2) 施設整備検討懇話会の開催

基本計画の策定にあたり、スポーツ関係団体、健康づくり、コンベンション関係、建築関係、経済界等の各団体や有識者を委員とした懇話会を年間5回程度開催する。

#### (3) 他施設との複合化の可能性について検討

#### (4) 民活可能性調査の実施

より望ましい県立体育館の整備をめざし民間活力の導入可能性を調査、検討する。

#### (5) びわこ文化公園への交通アクセスについて

施設整備検討懇話会において議論するとともに、大津湖南地域エリア地域公共交通活性化協議会とも連携して検討する。

#### (6) 「びわこ文化公園都市における新県立体育館整備等検討会議」の開催

### 4. 今後のスケジュール

平成 28 年度 新県立体育館建築基本計画の策定と民活可能性調査の実施

※基本計画素案を策定後、パブリックコメントを実施するとともに、民活可能性調査を実施

※都市計画（用途地域）の見直し、造成基本計画の策定

平成 29 年度～平成 30 年度前半 基本設計

平成 30 年度後半～平成 31 年度 実施設計

平成 32 年度～平成 34 年度 建築工事（平成 31 年度～ 造成工事）

平成 34 年度末 竣工